

貝塚市立自然遊学館夏季特別展

国立科学博物館巡回展「ノーベル賞を受賞した日本人」

令和6年 7月20日～9月2日 入館無料 後援 朝日新聞社

自然遊学館から小中高校生の皆さんへ 自然科学分野での日本人ノーベル賞受賞は25名※、今世紀では世界第2位の受賞者数です。特別企画展では来館する小中高校生に向けて、自然遊学館よりノーベル賞を受賞された先生方に、メッセージ文やメッセージ動画をお願いしましたところ、写真の先生方より自然遊学館にメッセージ等をいただきました。 ※受賞時米国籍2名

小中高校生の皆さんがアンケートに回答いただきますと、写真の先生方の研究業績と皆さんへのメッセージ文を取録したリーフレットをお渡しいたします。(部数に限りがあります)

京都大学がん免疫総合研究センター提供



京都大学大学がん免疫総合研究センター
センター長 本庶 佑 先生
免疫の働きにブレーキをかける物質を発見した。この発見した物質の働きを阻害し、免疫ががん細胞に直接働き攻撃するがん治療の新しい仕組みを確立した。



旭化成株式会社名誉フェロー
名城大学特別荣誉教授 吉野 彰 先生
リチウムイオン二次電池(充電可能な電池)を発明した。この電池がこれまでになく高容量で小型化が可能であったため、様々な電子機器の開発につながった。

東京大学宇宙線研究所 提供

カリフォルニア大学 サンタバーバラ校
卓越教授 中村 修二 先生

高輝度青色発光ダイオードの開発。これにより光の三原色が出揃い、長寿命で全ての色が格段に低い消費電力で再現された。人類に最大の利益をもたらせたものの一つにあげられている。

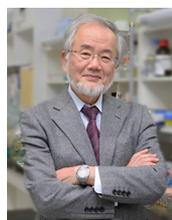


東京大学宇宙線研究所
卓越教授 梶田 隆章 先生

宇宙素粒子観測装置スーパーカミオカンデにおける研究において、膨大な観測結果より、質量がないとされてきたニュートリノに質量が存在することを証明、これまでの物理の常識を覆した。



北里大学特別荣誉教授 大村 智 先生
土壌細菌などの微生物を大規模培養する中で、微生物が創る化合物400種余り発見し17種が重要な医薬品や薬品として実用化している。寄生虫感染症薬品は数億人の命を救い、また現在も多くの人を失明から救っている。



東京工業大学科学技術創生研究院
荣誉教授 大隈 良典 先生
細胞内のタンパク質異常や過剰蓄積、栄養状態の悪化、侵入した微生物の排除など細胞内を正常に保つオートファジーという細胞内の仕組みを解明した。

国立科学振興機構 提供

京都大学大学iPS細胞研究所

山中 伸弥 先生 マウスの体細胞に4つの遺伝子を入れ培養し、どのような細胞にもなりうるiPS細胞の誘導を世界で初めて成功した。iPS細胞は再生医療をはじめ多様な基礎応用研究が世界規模で行われている。



化学者 野依 良治 先生
不斉(ふせい)合成(分子を鏡に写したように右左が逆の物質を合成する)と呼ぶ方法で、有用な化学物質を高い効率で合成する技術に道を開いた。パーキンソン病や抗がん作用のある医薬品や香料などの製造に利用されている。



貝塚市立自然遊学館 (登録博物館)

Kaizuka City Museum Of Natural History

大阪府貝塚市二色3-26-1 Tel. +81-(0)72-431-8457

開館時間 9～17時 Open: 9am Close: 5pm

土・日曜日 Sat.Sun. Close 7:30pm

休館日 火曜日 Closed on Tuesday

mail: shizen@city.kaizuka.lg.jp



自然遊学館HP



自然遊学館YouTube